

# 附属学校運営委員会

**委員長**；学長  
**構成員**；  
 附属学校担当副学長、事務局長、校園長等  
**活動内容**；  
 毎月附属学校の運営に関することを審議・決定しガバナンス確立  
 R4年度 学則の大幅改訂

## 学校運営協議会制度

**開始**；R5年度から  
**構成員**；学識経験者、県・加東市指導主事、附属3校園保護者代表、3校園長  
**活動内容**；  
 学校運営の基本的方針の承認、学校関係者評価等

# 令和7年度兵庫教育大学附属小学校経営計画と評価

## 学校教育目標

**人間として生きぬく力を育てる**  
 ～夢に向かって挑戦し続ける人の育成～  
 人間として生きぬく力とは  
 学ぶことの大切さ、楽しさを知り、学びの本来の意義を理解し、生涯にわたって学び続ける力と確かな「人間力」

### 具体的には

- I 基礎となる学力
- II これを駆使してより深い学習を自ら求めていく探究心（学習力）
- III 豊かな感性
- IV 他者の立場で物事を考える思いやりの精神
- V 多くの人から愛される立ち居振る舞い

### 第三者評価委員会

自己評価及び学校関係者評価を評価する

## 学校運営方針

「教員も児童も成長を実感できる学校」  
 「研究と学校改善が一体となった学校」  
 「地元に戻って活躍できる教員を育む学校」  
 [行きたくなる学校～子どもも・保護者も・教員も～]

### 児童の実態

- 素直で幼い
- 思い・考えを表現する力がある
- 規範意識に課題

## 附属学校園のミッション・ビジョン

### ミッション

- 大学と一体となった先導的な教育実践研究の推進
- 新しい時代の教員養成に即した教育実習の実施
- 地域のモデル校としての役割遂行

### ビジョン

- 学校像  
12年間を通して地域と連携し、一人一人の子どもの学びと成長が保障される創造性豊かな学校
- 子ども像  
情報活用能力や知的創造力と寛容性を兼ね備えた、グローバル社会で活躍できる人間
- 教員像  
互いに敬意をもって高め合い、働き方改革を踏まえ、先進的で優れた教育実践に取り組み、地元自治体の中心的な教員として活躍できる教員

## 令和7年度重点目標・具体的な取組・達成状況

### 気持ちのそろった校内組織・教師集団

### 大学との共同研究充実

### 安全・安心な学校づくり

### 附属学校としての新しい文化の創造

### 魅力的な学校づくり推進のための5つの視点

重点目標	大学との共同研究充実	安全・安心な学校づくり	附属学校としての新しい文化の創造	魅力的な学校づくり推進のための5つの視点
①的確なガバナンスによる学校運営 ②管理職の理念浸透と同僚性の醸成 ③教員の指導と学力実態の把握・改善	①先進的な授業改善「個別最適化」と「協働的な学び」の実現 ②大学との共同研究の取組	①いじめ未然防止、対応の徹底 ②違いを認め合う児童集団 ③授業規律、生活規律等の統一 ④長欠児童への適切なアセスメントと支援 相談・支援体制確立 ⑤感染症等の学校の対応力向上	①カリキュラムマネジメント推進 ②働き方改革の推進 ③学校運営協議会制度の効果的な運用 ④実地教育の改善・充実	①校種間連携の推進 ②新しい特別活動、学校行事の創造 ③知の森・アートの森基金事業推進 ④異文化理解、国際理解教育推進 ⑤「教員養成の知の拠点化」推進 ⑥入試制度改善、ミドルリーダーの成長
<b>達成状況 3 (達成)</b> ①学則に則った学校運営と理念浸透 ・学校日より(毎月) ・校園長通信作成(適時) ②人事評価制度の適切な活用 教職員それぞれが責任を果たす体制づくり ③指導状況の自己分析 全国学力・学習状況調査 平均正答率；国語66.4(全国67)、算数63.1(全国58.2)、理科61.2(全国57.3) ※ 理数に成果があった。 分かる授業づくり肯定的評価 R6；教員91%保護者91%児童92% R7；教員97%保護者95%児童96%	<b>達成状況 4 (予定以上)</b> ①先進的な授業改善 情報活用科担当専科教員配置。全学年で新教科「情報活用科」の取組実施と発信(教育課程特例校)。 <b>達成状況 4 (予定以上)</b> ②小中合同研究発表大会3年目 10/11授業実践交流会、1/31小中学校合同研究発表大会 参加者対面500名オンライン 123名合計623名で大幅増。情報活用科の取組を研究開発学校へと発展させた。 STEAMLABの活用状況 教員数 R658%→R7 100% 東京学芸大学堀田龍也教授、信州大学佐藤和紀准教授の指導を受けた。	<b>達成状況 3 (達成)</b> ①いじめ防止基本方針見直しと対応 大学やスクールロイヤーの指導の下でいじめ防止基本方針の大幅見直し。いじめ防止等取組の肯定的評価。 R6児童92%保護者93%教員93% ②③思いやりの心やルールを守る。 児童94%保護者98%教員97% 病院受診が必要な校内けがの件数 R5.41件 R6.36件 R7.35件 ケガによる保健室入室児童数 R51356件R61472件R71383件 ④相談・支援体制 SC、SSW、スクールロイヤーとスクールドクターとの円滑な連携とケース会議の実施。 相談しやすい学校か。肯定的評価 児童95% 保護者91% 教員93% ⑤適切な訓練と安全研修の実施	<b>達成状況 4 (予定以上)</b> ①年間授業時数の管理と標準時間数達成。文部科学省指定「教育課程特例校」として全学年情報活用科に取り組み、積極的に発信。情報活用科は予定以上の成果を挙げ、研究開発学校につながった。 <b>達成状況 3 (達成)</b> ②ミドルリーダーの積極的な関与、ノー残業デーの取組強化 <b>達成状況 3 (達成)</b> ③学校運営協議会を年3回開催し、積極的に活用できた <b>達成状況 3 (達成)</b> ④実習後の学生のアンケート ・迷っていたがなりたくなった R4年度72.7% R5年度82.1% R6年度87.2% R7年度84.4%と年々上昇傾向続く。	<b>達成状況 4 (予定以上)</b> ①校種間連携；3校園合同の安全の取組。小中合同PTA文化教育講演会。1月の小中合同研究発表大会。6年生の進路指導充実。 <b>達成状況 3 (達成)</b> ②学校行事の創造と再編 6月スポーツフェスティバル 保護者97% 2月附小っ子学園祭 保護者96% ③夏休み図書館開放参加者286名。地元公立こども園にも案内。中庭整備の工事進展。 ④異文化理解、国際理解教育の推進 フィンランド、台湾、ニュージーランドへの派遣や来校、児童のオンライン交流 <b>達成状況 4 (予定以上)</b> ⑤研究大会の参加人数大幅増加(再掲)他 ⑥改善策；HPの改善、入試日程をA日程B日程で実施。学校説明会を倍増し体験授業を実施、「附小っ子学園祭」公開。入学予定者の増加につながった。